

令和元年9月13日

桑折町議会  
議長 片平 秀雄 様

産業厚生常任委員会  
委員長 佐藤 武朗

### 委員会調査報告書

本委員会に付託された調査事件について、調査報告を下記のとおり、会議規則第77条の規定により報告します。

#### 記

#### 1 調査事件

健康寿命延伸の取り組みについて

#### 2 調査目的

健康で生き活きと暮らせるため

#### 3 調査の経過

□平成29年8月8日

保健福祉課長の出席を求め、健康寿命延伸につながる町の取り組み事業について説明を受けた。

□平成30年5月18日

保健福祉課長、こども・地域・高齢者支援室長の出席を求め、町民が主体的に活動する関係組織との連携による心身の健康を育む環境づくりにおける現状の取り組み状況と今後の計画について、「地域包括システム」構築に向けての今後の計画について説明を受けた。

□平成31年1月23日

こども・地域・高齢者支援室長の出席を求め、地域包括ケアシステムの今年度各種取組事業の状況と今後の課題について説明を受けた。

□令和元年5月17日

健康福祉課長、医療介護連携室長の出席を求め、町の健康寿命延伸に対する方策について説明を受けた。

□令和元年7月18日、7月30日

委員会調査報告について、協議・検討を行った。

#### 4 調査結果

急速な高齢化が進む中、日本人の平均寿命は医療の進歩とともに世界トップクラス、健康寿命についてもトップクラスに位置している。

しかし、厚生労働省が発表している2016年の調査結果によると平均寿命は男性が80.98年、女性が87.14年である。健康寿命については男性が72.14年、女性は74.70年であり、平均寿命と健康寿命の差は男性で8.84年、女性で12.34年となっている。この差約10年間を、病気や介護で不自由な日々を送らないように、その差をいかに縮め、自立した日常生活が送れるようにするかが課題である。

福島県の平均寿命、健康寿命は全国平均を下回りながら推移している。本町の数値については明確に示されていない。

健康長寿を支えるのは「食事」「運動」「社会参加」が必須条件である。本町の取り組んでいる事業は、メタボ改善・メタボ予防を図る「こおり運動教室」。メタボ・高血圧等の重症化を予防する「みんなで減ら塩運動」。身体づくり・生き甲斐づくり・地域づくりの「百歳体操」の実施により介護予防につなげている。その中でも、メタボ予防運動教室に参加されている方には効果が表れている。

また、町民の健康づくりの意識付けに「インボディの活用」「微量アルブミン尿検査」等の各種事業が行われている。

当委員会としては、短期間での成果を求めることは困難と考える。また、若い世代のうちから「健康」に対する意識を持つことも大変重要と考える。

健康寿命延伸に向けての各種事業については、段階的な目標の設定、各種事業単位での効果測定及び課題等の抽出を図りながら、継続的に事業展開を図る必要がある。